山口市立徳佐小学校　校長室だより　　ショウ　ガッ　コウ　（笑顔で　楽しく　考える）

徳佐笑楽考

ＮＯ８
令和3年5月31日
文責　山田英二

藤本教育長の突然の訪問！

27 日（木）に山口市教育委員会の藤本教育長が徳佐小学校を訪問され、子どもたちの様子を見て回られました。アポなしの突然の訪問に私はびっくりでしたが、子どもたちはいつもと変わらず学習に取り組んでいました。５，６年生の学習に集中している姿（この日、６年生は全国学力学習状況調査日）３，４年生の体育館で元気よくソフトバレーボールに取り組んでいる姿、２年生の生活科の町探検コース作り、１年生のカルタを使ったひらがなの学習など、楽しそうに学習に取り組んでいる姿を見られました。２年生のところでは子どもたちが教育長さんに電子黒板に映し出された写真を動かしながら、自分の家や地域のことを積極的に話しかけ、教育長さんも笑顔で聞いておられました。ICT 機器を効果的に使った学習にも感心されていました。また、校舎内が整頓されており、この校舎が出来てから１０年以上経っていますが、床などもピカピカで子どもたちの学ぶ環境のよさが維持されていることについても触れられました。掃除に一生懸命取り組む徳佐小の子どもたち、校舎を大切に使っている先生方、そして、毎日隅々まで校舎内外の環境美化に努めて下さっている校務事務の村田さんのおかげです！

ドラマ「ドラゴン桜２」から学ぶ②！

前号に続き、ドラマの中で出てきた印象に残った言葉のいくつかを紹介します。

- 人間ははっきりとゴールが見えれば準備をし、達成へと着実に進む。逆に目標を持たなければ漂流し、やがて無気力になっていくんだ
- 子供が自分から勉強するには無理にさせることでも野放しにすることでもない。人間には上を目指したい本能がある。勉強に対する嫌悪感がなく覚悟を決めたら生徒は殻を破り能力を開花させる。教師の役目は生徒の中に眠っている好奇心を刺激して開花させること

学校では様々な目標を子どもたちにもたせています。保護者の皆様もそうだと思いますが、目標が明確になると、頑張ろうという思いがわいてきた経験があると思います。好奇心を呼び起こすこともそうです。頑張りたい、頑張らなければという思いをいかに子どもの心の内に湧き上がらせるかが、学校では教師の腕の見せ所です。そして、多様な体験をさせること。日々、各教室で担任の先生方は、子どもたちの「やる気スイッチ」を呼び起こそうと取り組んでいます。そして、達成感を味わわせることも。まさにこのドラマで出てきた言葉は、徳佐小の教育方針である「夢、自信、活力を育み、一人ひとりがかがやく教育の推進」と合致するものではないかと一人納得しながらドラマを見ていました。